

第48回

奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会

日 時：平成24年8月23日（木）

午後6：00～

場 所：人権啓発センター3階大会議室

次 第

開 会

1. 議 事

- (1) 第47回策定委員会議事録概要版の確認
- (2) 施設整備のあり方について
- (3) その他

閉 会

(事前配布資料一覧)

資料 9 4 第 4 7 回策定委員会開催概要及び議事録概要版 (案)

第48回委員会	
開催概要	H24.8.23

第48回策定委員会開催概要及び議事録概要版

件名	第48回 奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会	
日時	平成24年 8月23日（木） 18：00～20：10	
場所	人権啓発センター 3階大会議室	
出席者	委員	今井範子、片山信行、日下穰、阪本昌彦、佐藤真理、高杉美根子、竹村健、田中幹夫、田中啓義、元島満義、森住明弘、山口裕司、吉岡正志、吉田隆一、渡邊信久 (木内喜久子、國領弘治、古海忍、三浦教次、安田美紗子委員は欠席)
	事務局	吉住部長、阪口参事、高橋課長、村田課長、山本工場長、美馬主幹、井谷主任、田中主務
	コンサル	堀 善雄
開催形態	公開	
記録作成者	奈良市施設課	
配布資料	資料94 第47回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案）	
会議内容		
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第47回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) 施設整備のあり方について</p> <p>(3) その他</p> <p>閉 会</p>		

議 事 要 約 内 容	
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日は大変お忙しい中、また大変お暑い中、ご出席を賜りありがとうございます。今回は奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会の48回目の会合です。最後までよろしくお願い申し上げます。 委員会の開会に先立ちまして山口清和委員の後任として、今回の委員会から、新たに委員に就任していただきました、奈良市自治連合会長 竹村健委員に部長から委嘱状を交付していただきます。
吉住部長	「委嘱状交付」
竹村委員	「竹村委員就任挨拶」
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。6吉住環境部長よりご挨拶を申し上げます。
吉住部長	「部長挨拶」
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 本日の出席状況、委員総数20名のうち現在12名ご出席いただいております。従いまして本日の委員会は成立しております。 早速議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては渡邊委員長にお願いいたします。
渡邊委員長	<p>1. 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第48回の奈良市クリーンセンター建設計画策定委員会を開会いたします。まず、本日の資料確認をお願いします。
事務局（美馬）	「資料確認」
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 皆さん、よろしいでしょうか？
渡邊委員長	(1) 議事録概要版の確認
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 議事録の概要版からですが、何か今までに訂正、事務局入っていますか？ ● 訂正は今のところ入っていません。 ● 皆様、よろしいでしょうか？ 今日の会議中にももしも気がつかれましたら、ご指摘いただいて、会議の終了とともに議事録を確定ということできさせていただきたいと思います。
渡邊委員長	(2) 施設整備のあり方について
事務局（美馬）	<ul style="list-style-type: none"> ● 続きまして、施設整備のあり方、道路整備、先ほど吉住部長から冒頭お話がありました、改修箇所の現地を見て、更に改善できる場所はあるのではないかとということをお話がありましたので、そのご説明からお願いします。
事務局（村田）	[道路整備案の説明]
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● ただ今の道路の改修案に関して、皆様からご意見等を頂戴したいと思います。費用的な話聞いてもいいでしょうか？ 年間にどれくらい奈良市では道路に予

事務局（村田）	<p>算を使っているかということ、これにかかる費用、すなわち市域全体に対する割合はどれくらいのものか、まずそれからお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局（村田）</p> <p>渡邊委員長</p> <p>事務局（村田）</p> <p>渡邊委員長</p> <p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今説明させていただきました場所の費用ということですが、般若寺交差点と区間1、区間2、区間3を合計しますと、概算ですが、約6億円。さらに候補地が⑥-2になった場合ですが、区間4もしくは市道東部77号線の付替えですが、区間4が、約3億6千万円、市道の77号線の付け替えが約2億5千万円。これはどちらかを選択するということになります。例えば市道77号線の方を選ばれたとして、合計約8億5千万円の費用が必要となります。道路整備案はどれくらい奈良市が占めることになるかということについてですが、市の都市計画道路等の新設の予算というのが年間約28億円。3分の1強くらいの費用ということになります。
<p>事務局（村田）</p> <p>渡邊委員長</p> <p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 年間で市の道路予算の3分の1ぐらいということですか。 ● はい。都市計画道路などの整備費用を全部含んでです。 ● そういう感覚を覚えた上で、皆様からのご質問等ありましたら、お願いしたいと思います。 ● このお金というのは、奈良市が負担して整備するお金のことを言っておられるのであって、国とか県からのお金はこの中に入っているのか否か、それについてお願いします。
<p>事務局（村田）</p> <p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 国や県のお金ということですが、基本的には道路整備しようと思えば、それなりの整備の必要性。特に今言われているのが費用対効果ということと言われることです。その辺がまだはつきりつかんでいるわけではございませんので、今後それは県との話の中で決まってくると思います。奈良県としましてはこの道路を、今すぐ整備しなければならない道路という位置づけはされておられません。今後、県との話の中で、何らかの補助金を使って、できるだけやっていきたいと思っています。ただ、どうしても補助金に乗る要件がない場合には、奈良市としては、単費ででもやらなければならないかもしれません。
<p>事務局（村田）</p> <p>元島委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● もちろんやるにあたっては補助をもらえるように動くけれども、奈良市からの覚悟として、これだけは絶対やりますよということ、今表明していると考えてよろしいですね。 ● もちろんそうです。 ● 手続き上の議会、承認はとれそうなんですか？
<p>事務局（村田）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 予算を取るためには議会の承認は必要です。クリーンセンターの必要性は、議会の方にはわかっただけだと思います。一度に6億8億を使うわけではございません。環境アセスをしている期間において道路整備を何年かに分けてするということになると思いますので、議会の方にも理解してもらえよう、今後充分説明していかなければならないと感じています。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● ここで、議会通りますとも、進めませんとも言えませんので、今のようなご回答となると思います。

吉岡委員	● 県庁と梅谷口の交差点のソフト対策というのは、今まで聞いたような信号の制御という話ですか。
事務局（村田）	● それだけではございません。信号の青時間をいじったり、パークアンドバスライドでできるだけ流入しないようにしたり、もうひとつ県がやっていますが、観光シーズンには大仏殿の交差点横のバス駐車場があるんですが、今まで道路にバスが並んでいたような状況がございましたが、今は予約制にしていまして、バスが道路に並ぶことがなくなっています。そういうことをソフト対策の一部ですが、奈良市としてできるソフト対策としまして、クリーンセンターへ出入りする車両そのものを減少させる方法についても検討を進めています。また、周辺道路で渋滞が発生しているラッシュアワー、その時間には極力ごみの収集車の通行量を少なくする方法、出発時間をずらすなども、今後の検討課題と考えています。
渡邊委員長	● ソフト対策というのは、もうすでに、バスとかやってるんですか。
事務局（村田）	● 以前に説明させてもらったと思いますが、平成22年と、去年と奈良市で交通調査をしまして、般若寺交差点から県庁前までの通過時間も調べています。22年には、大仏前駐車場の予約制というのがなく、大仏前の東西の通りに大型の観光バスがずらっと並んでいた状況がありました。それが23年9月末頃から、駐車場の予約制をとられまして、バスが入れる台数しか来なくなったことから、県庁前の県庁東交差点から大仏殿の入り口までバスの駐車場待ちの列がなくなり、その結果、22年では14～15分、般若寺交差点から県庁東交差点まで最大で通行するのに要していた時間が、23年度では10～11分くらいまで、3分くらいの減少が見られました。全てそういう状態かどうかかわからないですが、調査した間ではそういう結果がでました。
渡邊委員長	● 効果あるんですね。他に何か。
森住委員	● 区間4の道路とそれから市道新設、このどちらかと言われていますが、奈良市としては、どういう判断で、選ぶとされてるんですか。地元との関係で、選択するつもりなのか、奈良市の独自の判断でされるのか。もう一つはですね、今回の説明は今までこの金額が、ここで明らかにされてなかったんですが、大体、最大で9.6億、少なくても8.5億と、かなり思い切ったお金を出すということ、この席で表明されましたのは、非常にすごいことだと思いますが、このことを地元の方との話し合いの中で、いつ頃どういう形でされたのかについて、少しくわしくお願いします。
事務局（村田）	● 区間4と市道新設、どちらを選ぶかということですが、金額だけ見れば市道新設の方が安いということはもちろんです。しかし今後、候補地が決まった場合、周辺の方との話し合いの中でどちらを選択するかということを決めていくことになると思います。 整備案につきましては、連合会の会長の方には一応こういうことで、今後住民の方に提示させていただけたらありがたいということで、報告はさせていた

渡邊委員長 事務局（村田）	だいています。 ● 正式にはこれから。
渡邊委員長 森住委員	● そうです。今後どうなるか、まだわかりませんが、報告会という形でも結構ですので地元の方とお会いして、お話する機会をと考えています。
事務局（村田） 森住委員	● わかりました。道路に関して、もうよろしいですか？
事務局（村田） 吉岡委員	● いつ頃されたのかということと、市から誰が出席されて、どういう話し合いになったのかということをもう少しくわしく
事務局（村田） 吉岡委員	● 7月。 ● 前から要望書を出されておられる、東部6連合自治会の方々ですか？
事務局（村田） 事務局（村田）	● そうです。それと隣接します、入り口である鼓阪連合会の会長さん。 ● もうこれで最終案ですか。
事務局（村田） 渡邊委員長	● 相当思い切って検討はさせていただいたつもりです。ただ、どうしてもというように地元の方から言われた場合には、あまり大きな額は難しいとは思いますが、それなりに検討していかなければならない場合もあると思います。
事務局（村田） 渡邊委員長	● 事前に金額の話していいということも言っていますが、9億円とか10億円とかいうお金というのは、今回議事録でも残ることですので、重みもあると思いますので、十分注意して進めていきたいと思っています。ですから具体的な場所は地元と協議していくことになると思います。今日の図面というのは、かなり詳しく検討を入れているものですが、これで全て決まったというわけでも無いと思いますが、金額的なことはかなり重たいと思います。
事務局（村田） 渡邊委員長	● 今日は、最新の施設に関することを、最近職員さんが見てこられたそうなので、その紹介DVDを見たいと思っています。 ● 委員長すみません。今日、傍聴人の方にも、整備の検討箇所を、お渡しさせていただいているんですが、まだ決まったものでもございませんので回収させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか？
事務局（村田） 渡邊委員長	● 我々も、事務局も一番恐れているのは、議会などから何の承認も無しに、こういったものを人に見せると言われても困ると思うんです。あくまで検討資料で、現在の市役所の考えを示すための資料であるということでご理解いただいて、取り扱っていただきたいと思います。
事務局（村田） 渡邊委員長	● 次いきましょうか。新潟ですか？ 新しい施設のお願いしたいですが。 ● 今流させていただくビデオですが、今年の4月から新たに稼働しました新潟市新田の施設案内のビデオです。直近では一番新しいビデオではないかと思えます。施設規模も330トンくらい。奈良市は400トンくらいと考えております。基本的な性能は奈良市も同じようなものが考えられるので参考にしたいと思っています。
事務局（村田） 渡邊委員長	[ビデオ視聴]
事務局（村田） 渡邊委員長	● 非常にシンプルな、中の技術について、克明に説明していただいて、私は好

B委員	<p>みなんですけど、皆さん、何か質問ございましたら…。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● リサイクルに関わる施設は併設されてないでしょうか？
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設としまして、リサイクルセンターという位置づけはなかったですが、入り口で家具などにつきましてはリユースの方向で、いくらかの値段をつけて販売しておられたと思います。
田中副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 2点ですが、一つは灰熔融炉について、効果や何らかの意味があるのかどうか。加えて、奈良では、そういったものをするのかどうか。 もう一点はアクアパークですが、利用者が、多いのか、地域振興に役に立っているのかどうか。加えてそれを奈良ではどうするのか。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 灰熔融につきましては、最終処分場があまりないという状況から、なるべく焼却灰をリサイクルできるように、ということで始められた政策でして、一時期は灰熔融施設をつけることによって、補助金が増えるという、国の政策がとられておりましたので、多くの自治体はつけております。現在は灰熔融で2分の1補助はなくなったと思います。 それから関西地域においては、フェニックス最終処分場、平成33年に閉じる予定でしたが、ごみが減りましたので、あと10年くらい使えます。ですが、全国的には関西人が大阪湾に甘えてるだけだという、批判を受けています。それはそれで私たちも、真面目に考えないといけないので、焼却灰を何かの形でまた生活の場に戻すということを考えないといけないですが、そのために灰をスラグにするということが最適かどうかはなんともいえません。今後するのかわかれば、財政状況からすると、しばらくフェニックスに甘えることになると思いますが、その後のことはやはり、自分たちで責任をとらないといけないということになると思います。 もう一つのアクアパークですが、それは事務局、お願いします。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● アクアパークの内容等については把握しておりません。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● そのようなものを、今、作ろうと考えているかどうか。ですね？
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● これも以前からお話していると思いますが、地元還元施設の一部と考えていますし、その場合は、地元の方とお話し合いの中で、今後どういうものが一番いいのか、また地元にとって有効に使えるものか。いろんな議論の中でどういうものを作っていくかということになっていくと思います。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 灰熔融炉は、そうとう電気を食べますね。それともう一つ、今の画像では、鉄を発生させるとありました。本当に回収できるのかどうか。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 経済的なことを言いますと、すごい電気を使っているんです。出て来るメタルといっているものも、別に金や銀が出てくるわけではありません。貨幣価値にしますと低い、鉛とか亜鉛が多く入ったものがごろっと出てくるんです。ごみの破碎されたものも必ず焼却に入れるという形からしますと、恐らくかなりの金属が入っていると思います。金も入っていますけども、ほんのわずかです。
吉住部長	<ul style="list-style-type: none"> ● 灰熔融炉を、今のビデオでは新潟市さん、つけておりましたが、基本的に委

	<p>員長の説明もありましたように、昔は灰熔融施設をつけなければ補助対象にならなかったという経緯がございました。ただ最終処分場は関東の方では非常に逼迫にしており、そういう状況で対応していましたが、奈良市の場合は南部の事務所で2工区という非常に大きな埋め立て処分場を運営しています。他には2期というもので、更に大きな処分場の最終計画がございましたので、基本的に灰熔融炉につきましても、建設費が非常に高いのと、委員長おっしゃいました、電気を非常に食いますので、維持管理費が非常に高いということです。将来的には施設規模も含めて、費用対効果の中で土地改で埋めるか、灰熔融にして体積を2分の1にして、さらに資材を利用するか、この辺は検討する必要があると思います。</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈良市さんの場合は自前で動いているんですね。言葉が過ぎまして、申し訳ありませんでした。
吉住部長	<ul style="list-style-type: none"> ● バグフィルターで取った飛灰ですが、これについては、現在フェニックスの方へ埋め立て処分という形で持っていかせていただいております。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 今回ビデオでは、排ガスの公害といったお話はほとんど無く、中の仕組みについて詳しく説明してあるという仔細でした。現在の焼却施設の、煙突排ガスでいいますと、現有の奈良の施設に比べると、かなり有害物質の量は少ないという状態です。ただ、煙突から白煙が出てますね。あれは白煙防止装置をつけないということで、近くに住宅はなかったんですか。
事務局（村田）	<ul style="list-style-type: none"> ● 田んぼの真中にありました。景観上の問題は無いと思います。
	<p>(3) その他</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● あといくつかの報告事項がいくつかありますので、これについて事務局から報告をお願いしたいと思います。
事務局（美馬）	<p>[鼓阪地区だより及び左京自治連合会だよりの説明]</p>
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 事務局からのご報告いただきましたのは、第2号鼓阪地区だよりと関連して、奈良市中ノ川地域における文化財の指定と保全、および歴史的資産としての活用策を確定する要望書。それから左京自治連合会だよりについてご説明をいただきました。 <p>この要望書につきましては市長宛、それから委員長渡邊宛で要望書を出されています。現在計画しています、この地域の歴史的な重要性 について説明いただき、最後のところで、極めて望ましくなく、現計画は撤回すべきであると。そして寺院等の史跡指定や紹介センターなどの設置などについて検討くださいという締めくくりで終わっています。私どもとしては、公共の施設ですので、今まで場所を選定してきた経緯もありますので、この場所での建設をお願いに行きたいというのが本音です。市域全体のごみの問題ですので、できましたら協働して、この問題に取り組んでいきたいというのが私の思いです。</p> <p>左京自治連合会だよりは日下さんから何かご説明ありますか？</p>

<p>日下委員 佐藤委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 特に説明というほどのものはないです。 ● 前回の議事録を見させていただきますと、アセスのことなど書いてありましたし、田中幹夫先生から、非常に遅れているというご指摘もあったんですが、公害調停申請人の会代理人から、再度、文章を市長宛に出されて、7月12日付けで市長から回答が出されています。これはきちっと、議論する必要があると思います。申請人の会代理人から、公害調停の条項に大幅に遅れていると。これは2月段階から指摘していますが、本来は去年の3月末に用地確定しなければならないのに、遅れていますが、2カ所に絞って、市にお返し、一年間あまり目立った進捗はなかったということで、速やかに用地を確定するように、今申入れをしているわけです。今回はその問題も書いていましたし、市長が、申請人の会の申入れに対して、強引に建設候補地を選定することは難しい。強引に建設候補地を選定するようなことは言ってないのに、こういう言い方をして、未だにまともに、候補地を選定しようとしていない。それから事前調査ないしアセスは、やるべきだと。そのことは国が平成9年以降に、拒否権を与えるような同意ということをやっていた自治体があるが、それは適切でない、平成9年以降通達などだされてるということ、きちっと検証した上で申入れをしているわけです。こういう状況が続くと、2月の時には、かなりはっきり書いておりましたけれども、法的な手続きもとらざるを得なくなるということも警告もしています。この問題については正式に、ここで報告していただいて、考え方・方向を改めていただくということは必要だと思います。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今、事務局からも答える必要がありますが、それ以外で現在の鼓阪地区、それからこのごみ焼却場問題を考える会、それから左京地区だよりについて、何かございますか？
<p>森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民の方からした資料をどう扱うかについての原則が崩れてきているような気がします。左京地区連合会がこれを皆に配ってくれて言ったのかどうかです。それから特にこの鼓阪地区の地区だよりというのは、なぜ今日ここに出す必要があるのか説明がないままです。何か報告事項だけで、佐藤さんがおっしゃったのは6月ですか？
<p>佐藤委員 森住委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 6月25日で回答が7月12。 ● それについて一切報告もない。基準がどこへいったという気がしました。出すのはいいが、これについて奈良市がどう考えているのか言わない。単に出しているだけで、何か時間稼ぎしてるんじゃないかという印象をもって、非常に雰囲気だれてしまうと思うんです。この会議の進め方の原則忘れていたという印象を持ちました。どういう原則で出しているのかを説明してもらいたい。出さない資料もあるわけでしょう。非常に不思議な感じがします。
<p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事前調査をできるような形になるべく早くしましよという願いは市長にもお願いしています。今日は何日に何をしますということまでは、まだ決まっていなくても、そういった状況も含めて事務局からご説明いただけたらと

<p>吉住部長</p>	<p>思います。それから、公害調停申請人の会代理人からの申入書について、市長からの回答はあったと思います。これも含めた話と思いますが、事務局から説明、進捗状況と今後の見通しについても簡単にご説明いただけたらと思いますが、お願いできますでしょうか？</p> <p>● 昨年の3月に委員会から、候補地2カ所に絞っていただいて奈良市へ回答いただいたということで、昨年の5月には市長が改めて東部の連合会長さんに、協力をお願いをさせていただき、委員会でも道路問題について、いろいろご議論いただいた中で、改良案を整理させていただき、今年度に入りまして、再度4月には市長も含めて道路整備案を説明させていただいた経緯がございます。4車線化は非常に難しいということで、追加検討案を含めてご説明させていただいたのが、今年の7月です。これは市長も入って頂いて、協力をお願いをさせていただきました。その後基本的には東部の連合会さんに対して説明会をお願いしたいということで、今現在お願いしている途中でございます。今後の予定は、今現在、ご報告できませんが、進展があれば、改めて次回の委員会でご報告させていただけたらと考えています。アセスも含めて、今年の7月に奈良市清掃工場公害調停申請人の会からいただきましたご意見につきまして、今年の7月12日付けで市長名で回答させていただきました。基本的には地元の皆様の理解と協力が必要と。環境アセスメント3年と施設整備に数年かかって、なおかつ稼動には少なくとも30年くらいは稼動していこうと考えておりますので、そのため地元の皆さんの理解と協力がなければ、中々進めていけないということで、今回文章的には強引に建設候補地を選定することは難しいという表現で回答させていただいています。今言える状況については、このような回答で申し訳ないですけども、ご了承願いたいと思います。</p>
<p>渡邊委員長</p>	<p>● アセスメント、あるいはその足掛かりとなり、地元と話ができるような事前調査をとということで、まずはやはり公に開いた形での話し合いの会というのを、これから持ちたいということで、7月に道路について連合会長さんにお話されてみたいですし、それから更に今年の秋くらいには公にできるように調整を図っているということだと思います。</p>
<p>吉田委員</p>	<p>● 私、委員であると同時に申請人の会でもありますので、その立場もあって、ちょっと発言させていただきますが、代理人の方からの申入書というのに対して、アセスをすとかしないとか何も書かれてない回答となっています。左京の立地というのは、まず不適切な場所であるというのは明確で、地元を見ていただけるとわかると思いますが、すぐ横に小学校があり、そのグラウンドに立ってみると、ほぼ目の前に煙突がある。その周りにも当然住宅があるという不適切な条件というのをまず考えていただいて、この件に取り組んでいただきたいと思います。現在の施設というのは、非常に古く、他の施設に比べても状態が悪いということです。もちろん法的に立証できる被害というのは出てないんですが、移転先では、今の施設よりは更にいいものを、当然目指しますので、そ</p>

<p>渡邊委員長</p> <p>A委員</p>	<p>ういうような問題を考えなくてもいいと思うんです。このような部分をはっきりと持って、事務局の方はアセスに取り組んでいただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 申請人の会からの意見。いわゆる排出基準に照らし合わせますと、確かにそれを公害というほどの数字じゃないですが、特に都市域にある焼却施設の排ガスの処理に比べると、現在の施設は決して胸を張れる状態じゃないということは、何度も申し上げております。建て替えますと現在の最高水準のものができると思いますので、現在のよう問題はなくなると思います。 <p>先ほど事務局からお話ありましたように、調整は進めていただいておりますので、全く止まっているわけじゃないという考え方です。</p>
<p>A委員</p> <p>事務局（山本）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現況の炉がですね修理・点検に入っていると思うんですが、入札が6月下旬に終わっているはずですが、まだ工事をやっているような形は見えません。30年まで使うという、部長は先ほどおっしゃいましたが、本当に大丈夫？修理もできないじゃないか。どう進んでいるのか、はっきり情報教えてください。 ● 環境清美工場の山本です。現在、オーバーホールで4号炉と1号炉につきまして入札が済みまして、最初に7月11日から4号炉のオーバーホールを実施しました。8月20日に完了しまして、20日より可燃ごみの投入を開始しています。1号炉につきましては、平成24年10月から11月の間にオーバーホールを実施する予定です。
<p>A委員</p> <p>事務局（山本）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 12月28日まで工事となっているんですけども ● 期間が大体4週間ぐらい見ておりますので、10月の終わりくらいからかかりますと12月のかかりくらいまで予定しております。
<p>吉住部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 今の説明させていただいたように、オーバーホールを4号炉をさせていただき、8月20日に完了して、今4機稼働しています。普通のごみ量が、1トン近くなっておりますので、これを4機フル稼働で焼却して、ごみをもう少し減らすような状況にしたいと考えています。工場長の説明をうけましたように、どこの市も一緒ですが、12月になればごみ量が増えてくるということで、今回10月から11月の間に、オーバーホールを約40日くらいかけてしたいということで、最終的なテストや最終調査とか精算とかありますので、工期的には12月いっぱいまでとらせていただいておりますが、オーバーホールの期間としては10月から11月の下旬くらいには終わるように対応したいと考えています。
<p>A委員</p> <p>吉住部長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● それで大丈夫なんですか？ 既に30年以上過ぎた老朽施設です。 ● 焼却炉につきましては、最長で全国的には35年以上稼働している施設も数ヶ所ございます。部品は充分対応できる状況にあると思います。
<p>A委員</p> <p>渡邊委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 流通しているわけじゃないでしょ。一つ一つ作るんじゃないですか。 ● それはその通りです。焼却を続けることというのは、決して生やさしいことじゃないということは、実際運転されている方々もご存知なことです。多分一番知らないのは市民のほうだと思うんです。現在の施設は直せば使える状態じゃないということを訴える、そういったことを皆さん知っていただく発言いた

A委員	<p>だいたいのものと理解しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元の回覧で4号炉の整備・点検をやるためにですね、恐らく11月ごろまでかかるという話で、承知・ご協力くださいという回覧が回っているんです。そのスケジュールと全然違うことをおっしゃっているから、もうあきらめてやめられたのかと、そんな感じもしますし、そのへんはつきり教えてほしいんです。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● スケジュールですから、工期は少し長めに書いていたりします。現有の施設でできるところは、しっかりやっていただきたいと思います。
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ● 鼓阪地区だよりに書いている反対の理由の最後ですが、何より大気汚染だということを書いてあるんです。大気汚染も森住先生は何度も強調されているのに、いっぱいデータがあるので、アセスメントといっても、データを大体集めるだけで充分いける。それでコンピュータで、予定地2つあっても全然心配ないレベルだと思う。それからただ絶対、動植物とかで、オオタカいたりしたらアウトですから。そういう貴重な生物等を調べていって、あればアウトですからね。それから緑ヶ丘浄水場を言っておられますが、これなども杞憂に過ぎないということは、お書きになっているとおりでと思いますので、一つ一つ、できることは早くやっていったほうが問題ないのじゃないのかと。ただ、環境とか景観というようなことをいわれている。これは奈良には非常に大きな問題で、そこらについてはやはり十分な議論をしていく。本委員会もそのところは用地選定の場合には重視してやってきて、今の候補地2カ所に絞ってきたんで、結論でいえば私は心配ないと思っておるわけですが、そういうご意見あるわけで、そこなんかは、きちっと議論をしていけば私はご理解いただけると思うので、やっぱり堂々とね、アセスメントというのは、この間、田中啓義さんが言っていたからアワズメントと違いますよと。ここと決めてですね、それを無理矢理合法化するためのものじゃない。やるもやらないも含めて、やらなきゃならないものはアセスメントで、むしろ住民参加で一緒にこの事前調査をやっていこうと。これやっぱり大事だと思います。渋滞問題については、本当に大胆な、相当なお金を出しても対応するという毅然とした態度を示されて、市長もようやくやるなという感じは受けるんですが、まだまだ相当遅れていますので、もうちょっとペースあげるようにしないと、先ほど議論になったところでみますとね、今日出していただいた新潟のなんか見ると、なるほどなどは思いますけど、しかし現実の左京の現状については、いっぺん造ってしまうと、何十年も引きずるという今のやり方を見ていたら、今度東部に持ってきたら、また何十年やられるんちがうかという不安も起こりうると思うんです。そういうこともあるから、やっぱりこれは現状、放置できないということもありますし、同時にやっぱり本当にあそこは、部分的な対応もできない。公害調停成立してから7年経っている。本当はあと3年後くらいという約束だったわけです。そうとう遅れています。
渡邊委員長	<ul style="list-style-type: none"> ● 切迫感をもって調整を進めていきたいと思います。

事務局（美馬）	<p>日程をつめるのと、あと道路の話、あくまで検討資料ということで、お取り扱い、特に傍聴の方に、お取り扱いをお願いしたいと思います。</p> <p>では、これで今日の審議は終わりということで、次回のこの会ですが、ちょっと時間をおいて、実はもう事務局側と打ち合わせして11月15日を提案したいんですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは今日はこれで終わりにして…</p> <p>● 皆様方には長時間にわたりご審議いただきましてありがとうございました。次回の策定委員会は11月15日です。よろしく願いいたします。本日はこれをもちまして閉会とさせていただきます。</p>
---------	--